

事例 2

トラックボールの改造②

1 相談内容

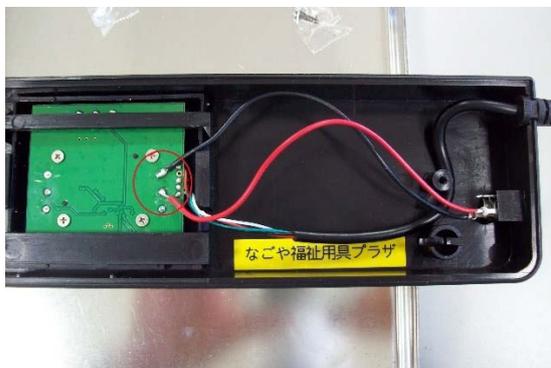
相談者は対象者本人で両手指が不自由な方です。トラックボールの操作がやりにくいと
の相談がありました。操作について話しを伺うと、操作がやりにくいのはボールを回すこと
ではなく、左クリックの操作でした。対象者から『左クリックは左親指で行っているが、前
腕の腱に痛みがあり、頻繁にその操作を行っていて、そのボタンが固いので楽に押す方法
はないだろうか。』と要望されました。

2 対象者プロフィール

20 代女性、左尺骨神経麻痺による手関節・手指の可動域制限と、右手過用による右尺側
手根伸筋腱鞘炎があります。職場や自宅でパソコンを使用し、腕に痛みがあるのでマウスを
持つことはやめて、アームレスト付きのトラックボールを使っています。

3 対応

トラックボールの左クリックボタンを別のスイッチで押せるよう提案し、外部端子を取
り付けることにしました。トラックボール裏蓋を開け、左クリックボタンのスイッチへ2本
のリード線(赤と黒)をハンダづけして線を引き出し、3.5mmφメスモノラル端子をハンダづ
けしました。ケースに穴を開け、この端子を固定しました。



蓋を開けて端子を増設



改造後の外観(左側に外部端子)

4 結果

外部端子に接続するスイッチを市販品と一緒に検討し、押した感じが軽くて良かったの
で、ジェリービンスイッチツイスト(パシフィックサプライ(株))を選択されました。対象者か
らは『楽に左クリックできたので、自分には有効だと思う。』との感想が寄せられました。
トラックボールにある左右のアームレストに手を置いたとき、左右掌下部が浮いていたの
で、腕の負担軽減のため、そこをハンドタオルで支えてボールを回す方法を提案しました。

5 予算

300 円程度